

集まれ、 地球人。

種子島

屋久島

宇宙を感じるこの島へ
地球を感じるこの島へ
生きていることを
この上なく喜べるこの島へ

熊毛地域医療福祉の仕事ガイドブック
～輝く自分に出会う暮らしのご案内～



Yakushima & Tanegashima

*feel the Space
feel the Earth
feel the Life*

島で暮らし、島で働く

LIFE & WORK ON THE ISLAND

そこには手つかずの森がある。手つかずの海がある。
果てしない時間の流れと地球の呼吸を感じながら
この島で暮らし、この島で働く。

「かけがえのない自分」に出会う島

医療、福祉は

かけがえのない命に寄り添い、支える仕事。

そんな厳しくも尊い仕事を選ぶあなたに、住んでみてほしい場所がある。

県都鹿児島市から高速船で約2時間。

気候同様、温厚で、移住者にも優しい人々が暮らす、

種子島・屋久島。

都会的な便利さや豊かさはないかもしれない。

その代わりに、ここにあるのは、

エメラルドブルーの海。

水平線と平行に空に浮かぶ雲。

見渡す限り、空いっぱいの朝焼け、夕焼け。

無人販売所に並ぶ、島で採れた季節ごとの野菜。

渋滞に時間と心を消耗することなく

綺麗な空気を吸い、夜になると、幾万の星を眺める日々。

都会なら、たくさんいるうちの誰かかもしれないけど、

ここでは、**あなたはかけがえのない、貴重な人財。**

この島々のかけがえのない命は、

今日も海を見つめながら

あなたが来るのを待っている。

目次 INDEX

01 種子島
P3-4

02 屋久島
P5-6

03 「心温かい島で自分のペースで暮らす」
P7-8

米田 海豊
特別養護老人ホーム芙蓉苑（種子島）

04 「やりがい子どもたちの笑顔」
P9-10

岩川 流那
児童デイサービス純文（屋久島）

05 「育ったこの島に貢献したい」
P11-12

町田愛音 松下愛理
社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター（種子島）

06 「四季に合わせて暮らす」
P13-14

武田 あつみ
種子島産婦人科医院（種子島）

07 私たちと一緒に働きませんか？
P15-16

08 移住の支援制度と取組
P17-18



01. 種子島

江戸時代に建てられた武家屋敷



美しい砂浜



天女ヶ倉公園から見る島の風景



稲刈りの風景

歴史と文化

人類は種子島を、約3万5千年前から棲み継いできた。南北60kmにも満たないこの島に、旧石器・縄文・弥生の文化が咲き誇り、今でも美しい水田地帯が広がっている。江戸時代には日本最南端の武家文化が栄え、その歴史を伝える武家屋敷の佇まいが今も残る。西洋人から初めて鉄砲が伝えられ、島の技術で国産銃が完成し、全国に広がっていった。そして今は、さとうきび畑の向こうから、世界の最先端の技術を駆使したロケットが夢を乗せて飛び立つ。

自然の恵み

なだらかな地形で豊かな漁場に囲まれたこの島は、年間の平均気温19℃と温暖な気候で、農業や漁業といった第一次産業が盛んである。米や地野菜が豊富に育ち、パッションフルーツや安納芋など、旬の味覚を楽しめる。黒糖やさつまいもを利用したお菓子や焼酎、トビウオやきびなごなどの海産物の加工も盛んである。豊富な食材が身近にあり、ほとんどの食料が島内で賄え、種子島産の牛乳やバターまで揃う。

移住の島

種子島は古くより移住の島として知られている。地理的立地から、漂着船を受け入れる温厚で寛容な風土が備わっている。明治から昭和にかけて、甌島や桜島、遠くは関西や静岡からも多くの移住者を温かく迎え入れ、集落も新たに形成された。近年では、波を求めて沢山のサーファーが全国から移住し、都会では実現しにくいライフスタイルを送っている。そして、地域社会を支え、種子島の発展にも貢献している。



観光スポット

- 浦田海水浴場
- 板敷鼻
- へご自生群落
- 西之表港
- 鉄砲館
- 月窓亭
- 天女ヶ倉公園展望所
- 能野海水浴場
- 鉄浜海岸
- アコウのアーチ
- 種子島空港
- 男淵・女淵の滝
- 馬立の岩屋
- 長浜海岸
- 島間港
- 古市家住宅
- 熊野海水浴場
- 千座の岩屋
- 種子島マングローブパーク
- JAXA 種子島宇宙センター
- 七色観望所
- 門倉岬

02. 屋久島

屋久島の森

鹿児島市から南に約135km、太平洋と東シナ海に面した洋上に浮かぶ屋久島。島でありながら、標高2,000mに迫る峰々を擁し、海岸線から山頂まで日本全体の自然植生が垂直に分布、原生的な天然林には樹齢数千年にもなるスギの巨樹が生育する。

古くから屋久島の山々は神々が暮らす場所とされ、信仰の対象になってきた。その稀有な自然環境と生態系が評価され、1993年に日本初の世界自然遺産として登録。樹齢2000年代から7200年とも言われる縄文杉をはじめ、九州最高峰の宮之浦岳(1,936m)、苔むす森が広がる白谷雲水峡など見どころが多く、多様な島の自然を楽しむことができる。



観光スポット

屋久島空港

宮之浦港

白谷雲水峡

縄文杉

永田いなか浜

屋久島灯台

西部林道

安房港

ヤクスギランド

紀元杉

大川の滝

粟生海水浴場

千尋の滝

電神の滝

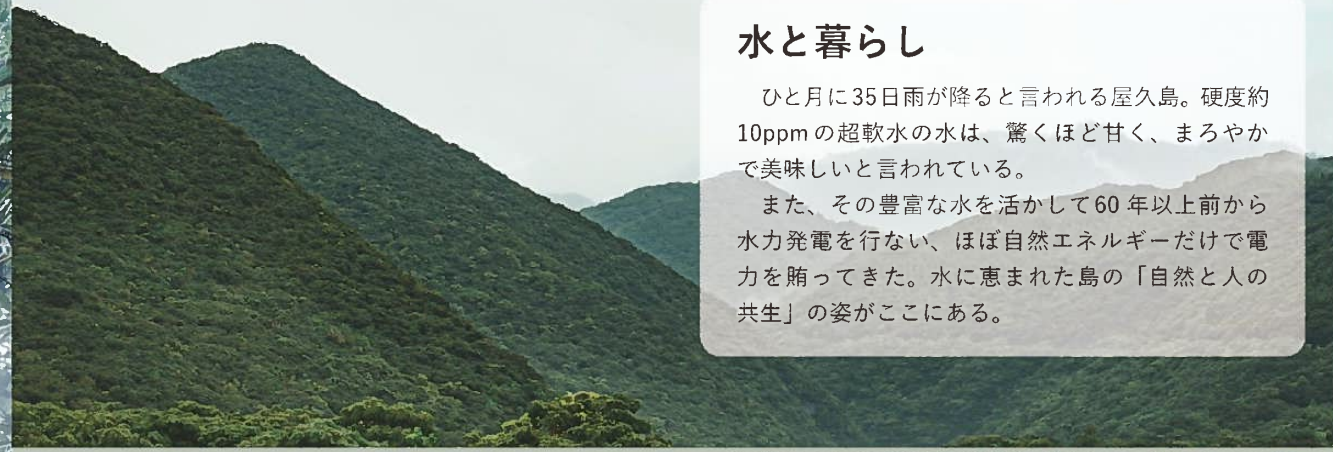
トローキの滝

紀元杉

水と暮らし

ひと月に35日雨が降ると言われる屋久島。硬度約10ppmの超軟水の水は、驚くほど甘く、まろやかで美味しいと言われている。

また、その豊富な水を活かして60年以上前から水力発電を行ない、ほぼ自然エネルギーだけで電力を賄ってきた。水に恵まれた島の「自然と人の共生」の姿がここにある。



島の畑で収穫されたライチ



堆積岩の崖を流れ落ちる大川の滝



ヤクシマザル



ヤクシカ

自然との共生

雨をもたらす豊かな水が屋久杉の森を育み、湧き出す水は140もの川を流れ、屋久島に生きるものすべての命の源となっている。

ヤクシカやヤクシマザルなど、屋久島に固有の動物たち、また、鳥や昆虫にも屋久島でしか見られないものがある。

驚異的な屋久杉、固有種や絶滅の恐れがある動植物など、珍しく美しい自然に囲まれた屋久島の暮らしは、日本だけではなく、人類の宝として認識されている。



根が二股に分かれるくぐり杉

03. 「心温かい島で自分のペースで暮らす」

米田海豊 Yoneda Kaito



←「米田さんの暮らし」の動画はこちら

profile

鹿児島県出身。母の影響で介護職に興味を持ち、芙蓉苑に就職。職務歴3年。

種子島

特別養護老人ホーム
芙蓉苑

港の堤防に腰掛け島の風景を眺める

友人の紹介でその場で決めた

芙蓉苑で働くことになったのは、鹿児島で介護の仕事を探している時に、芙蓉苑で母親が働いている友人から、介護の仕事を紹介してもらったのがきっかけでした。「来るか？」と聞かれてその場で決めました。

ありがとうの言葉

この仕事の楽しいところは、利用者様と関わるところです。身の回りのお世話をしたり、できないことをお手伝いしたりしながら、利用者様が毎日の生活を楽しく送っていただければと思っています。

ありがとうと言われる時や、いつも笑わない利用者様がたまに笑うとき、やってよかったなと思います。

心優しい島の人

島で働くことの良さ、一番は人間関係ですね。皆さん優しいので、気にかけてくれる方や、心配してくれる方ばかりで、逆に申し訳なくなるような、「そこまで気を遣わなくても大丈夫ですよ。」と思うくらい、心温かいです。

住んでいるうちに不安は解消

島では一人暮らしなので、鹿児島にいる両親にたまには会いたいと思います。たまに帰ると余計に寂しくなったりします。移住当初、知っている人といえば、仕事を紹介してくれた友人しかいなかったのですが、みんな優しく、いろいろ良くなってくださるので、暮らしているうちに不安は感じなくなりました。

嬉しかった手紙

80代の女性の利用者様から手紙をいただいたことがあります。「生きてよかった。あなたに巡り会えたから。」という内容の手紙でした。初めていただいた手紙でしたが、働いている中でそれが一番嬉しかったです。

利用者様の楽しいを一番に考える

目指したいと思っているのは、デイサービスと一緒に働いていた先輩です。すごく面白くて周りの人を笑わせるのに一生懸命な方で、利用者様の楽しいという気持ちが一番に考える、そんな働き方を尊敬しています。自分も苑の皆さんを楽しませることが出来る職員になれたらいいなと思っています。

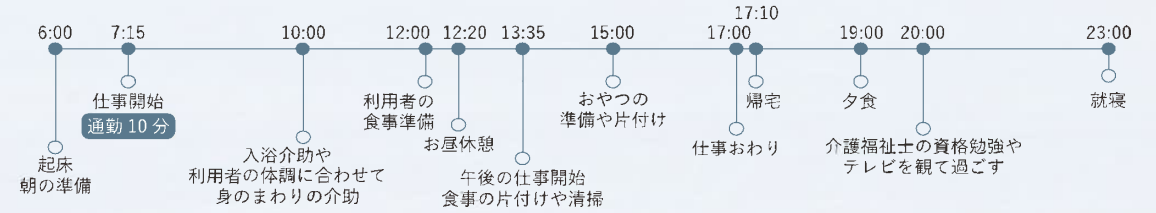


利用者とのふれあいの時間



利用者の食事の介助をする様子

米田さんのとある1日



島の田んぼ風景がお気に入り



ゆっくりと流る島の時間

お気に入りの場所

おじいさんとおばあさんが経営しているスナックがお気に入りの場所です。フレンドリーに話をしてくれるので、自分も話しやすいです。屋外では、田んぼの風景が好きです。デイサービスの送迎の時に田んぼの中を続く道を通ることがありますが、綺麗なあと眺めていました。

時間はゆっくり流れていく

都会と比べて、自分の時間を作りやすくなりました。自分のペースを保てるし、ゆっくり時間が過ぎる感覚があります。純粹に自分は、人が沢山いるところが苦手で、種子島みたいなところが好きなんです。緑が好きなので、自然豊かな種子島の森や海の風景を見ながら運転しているだけでも癒されます。

眺めるだけでも楽しい島の景色

島で暮らすようになってからは、友人と釣りに行くことが増えました。海をぼーっと眺めているだけでも楽しいですね。

学べる時間は貴重な時間

学生の頃は毎日を適当に過ごしていて、学ぶ時間を無駄にしたことを社会人になってからすごく後悔しています。学生の方は今は貴重な時間ですので、それを無駄にせず勉強に励み、いろんな交友関係を持ちながら、学生時代に学んだことを生かして楽しんで働いてもらえればと思います。

将来の夢

介護福祉士の資格を取得して、もっとレベルアップしたいです。あとは働きながら良い人と出会えたらなあとっています。

先輩からひとこと



生活相談員
大山 英之

米田さんは芙蓉苑に入社して以来、最初はデイサービス、その後、特別養護老人ホームで働いていただいています。声かけも優しいですし、利用者様にすごく評判が良いです。貴重な戦力になって来ています。人対人の仕事なので、その人の人間性がすごく出てきて、勉強させられます。利用者様と会話する中で、知らない知識を得られたりして、そういう面でもとても楽しい職場だと思います。

特別養護老人ホーム芙蓉苑

施設概要

当施設で生活する全ての人の幸せを願い、心優しいケアをすることを第一と考えます。ご利用者様及びご家族の皆様、そして施設職員全員をかけがえのない仲間と考え施設の運営を行っています。

所在地・連絡先

〒891-3701
鹿児島県熊毛郡那種子町
中之上 1702-4
Tel:0997-26-2345 Fax:0997-24-1250
Mail:koufukai@po5.synapse.ne.jp



04. 「やりがいは子どもたちの笑顔」

岩川 流那

Iwakawa Runa



「岩川さんの暮らし」の動画はこちら

profile

鹿児島県出身。
鹿児島市内の短大を卒業後、児童デイサービス縄文に就職。祖父母と一緒に暮らす。職務歴1年。

屋久島

児童デイサービス縄文

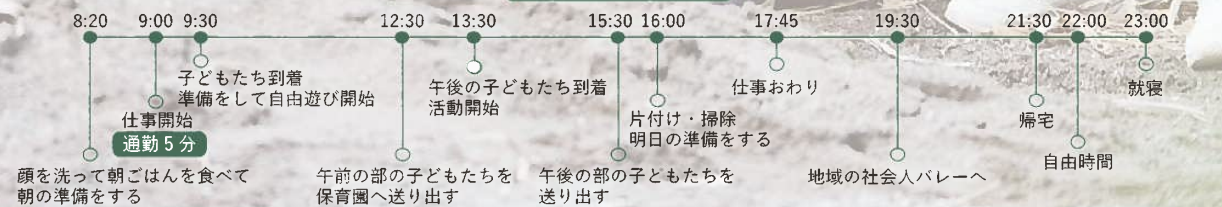
きっかけは親友と祖父母

小学生の頃、屋久島で暮らしていた時期があります。その頃、親友が事故に遭って障害者になりました。それも、屋久島に帰ってきたいと思った理由の一つです。今でも時々会いに行きます。

そして、最大の理由は、祖父母が屋久島にいて、一緒に暮らしたいと思ったからです。帰りたいと思っていた頃に、今の職場を紹介していただきました。

園庭で子どもたちと過ごす

岩川さんのとある1日



子どもたちのお昼ごはん



園庭に実るバナナの収穫



UVレジンづくりに夢中



島の自然の中で家族と過ごす休日



祖父母と一緒に畑の草刈りへ

やりがいは子どもたちの笑顔

この仕事の好きなのは、子どもたちの成長を見たり感じたりできること。また、海や滝を見に行ったりできるのが楽しいです。やりがいは、子どもたちの笑顔を見ることができるところです。

前を向いて働くことができる

自分に仕事ができるかが心配でしたが、屋久島に来てその考えは変わりました。子どもたちとの関わりの中で、自分で考えて動けるようになったので、今は前を向いて働くことができていると思います。

保育はみんなですもの

不安に思うことがあっても、一緒に働いている先輩から、保育は皆ですもの、一人で頑張らなくても良いんだよって言われたことが、心に残っています。

ゆったりした時間と溢れる自然

島で暮らすようになって、バレーボールなど体を動かすことが多くなりました。お休みの日は、UVレジンで小物を作ったり、草刈りや祖父母の農業のお手伝いをしています。ゆったりした時間の中で、自然溢れる暮らしができることを気に入っています。

支援の必要な方も笑顔で観光を

支援が必要な方も、笑顔で観光でき、のびのびと安心、安全、安定した生活を送れる屋久島になったら良いと思います。

将来の夢

子どもたちが自分の好きなお仕事を見つけられるような保育ができればと思います。

先輩からひとこと

通っている子どもたちの多くはそれぞれ特性を持っています。るな先生のこと、皆大好きなんです。子どもたちを受け入れて、話を良く聞く、穏やかな彼女が持っている良いところが子どもたちに伝わっているのかなと思います。

人と関わる仕事は、教えてもらうことや失敗することも多いけど、逆に励まされることもあります。慣れるまで最初は大変だと思いますが、やりがいもあるし、自分のためにもなると思うので、屋久島で根を張って、頑張ってください。



児童指導員
藤村 ゆみこ

児童デイサービス縄文

施設概要

「児童デイサービス縄文」は、早期療育の場として、地域に密着した療育支援活動を行い、希望する人はいつでも、だれでも受け止めようという願いのもとに設立されました。障害児に対し、通園するという形での指導を行い、地域社会が一体となってその育成を助長することを目的としています。

所在地・連絡先

〒891-4403
鹿児島県熊毛郡屋久島町原8
Tel: 0997-47-2274
Fax: 0997-47-2274
Mail: joumon.yaho-@docomo.ne.jp





患者さんの部屋へ向かう町田さん



研修の様子



患者さんの点滴の準備をする松下さん

きっかけは幼い頃の入院と奨学金

松下：この病院に就職しようと思ったきっかけは、自分が小学生の頃入院した際に、看護師さんたちが優しくしてくれたので(笑)。また、自分の地元ですし、高齢者の方も多いので、貢献できたらなと思いました。

町田：種子島医療センターの奨学金を借りることができたので、奨学金を返しながら、生まれ育った温かいこの島で働いていたらと思って、帰ってきました。

患者さんとのふれあいが楽しい

松下：患者さんと話すのが楽しいです。まだ一年目なので、できることが増えたと感じる時も嬉しいです。

町田：患者さんに関わるのが好きで、お話ししたりできるのがこの仕事の好きところです。

夜の病院と勉強は大変

松下：夜勤をちょうど一人で始めている時期なのですが、分からないことも多く、夜の病院で働くというのは、責任も感じて少し大変です。

町田：一年目なので、仕事をしていく中で分からないことも多くて、家に帰ってからも勉強するのが大変なところです。夜勤で疲れてできないこともあります。できるだけ学ぶ時間を取るようにしています。

すごい先輩が沢山いる環境

松下：プリセプターといって、初めの一対一で教えてくれる先輩がいて、患者さんや他の看護師さんとコミュニケーションとるのが上手でとても参考になります。患者さんの希望を聞き出して、それを叶えるのも上手で、すごく憧れるので真似ていきたいと思っています。

病棟の先輩みんなが優しいし、すごい方が沢山いるので環境がとても良いです。

患者さんを尊重できる看護師に

町田：患者さんを尊重できる看護師さんになりたいし、そういう先輩に憧れます。患者さんの意見を聞いて、そこからちゃんとアセスメントをして、必要なら先生に報告したりなど。状況をしっかり判断して、何が必要なのかを考えることができる看護師になりたいです。

嬉しい言葉

松下：患者さんが退院される時に「ありがとう」、「楽しかったよ」とか「また来るね」と冗談で言ってくれた時とか、嬉しいです。

町田：患者さんから「ありがとう」と言われるのがすごく嬉しくて、心を込めて接して良かったなって思います。「ありがとう」って嬉しい言葉ですね。

05. 「育ったこの島に貢献したい」



松下 愛理
Matsushita Airi

profile
中種子町出身。赤塚学園看護専門学校卒業。
2023年3月に帰島。看護師1年目。

町田 愛音
Machiida Anon

profile
西之表市出身。宮崎大学卒業。
2023年3月に帰島。
看護師1年目。



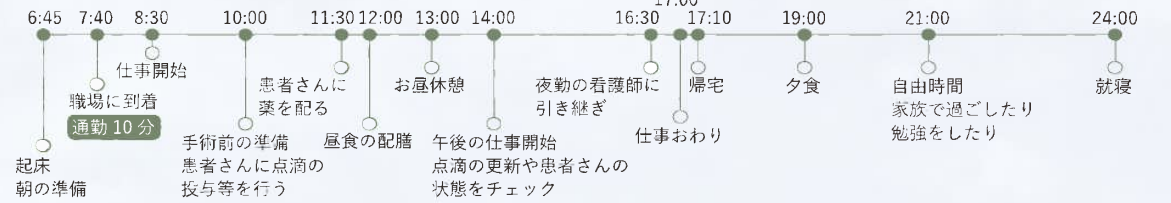
「町田さんと松下さんの暮らし」の動画はこちら

種子島

社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター

島の自然の中で過ごす休日

町田さんのとある1日



先輩との会話で笑みがこぼれる松下さん



カルテの確認をする町田さん

地元の温もり

松下：地元の知っている人が職場にいたり、方言で話したりして温かいなと思います。入院される患者さん同士で家族みたいな雰囲気になっただけで、親近感があって関わりやすいですね。

町田：生まれ育った馴染みのある土地で働くことで、知っている人も多くて皆さん良くしてください。いろんな患者さんがいらっっしゃいますが、フレンドリーで歳の差を感じさせないところがいいなと思います。

お金が貯まる？！

松下&町田：私達、実家暮らしなのでお金が貯まります！現実的な話ですけど。笑

自然が綺麗

松下：種子島の海は、どこの海岸を見ても水が綺麗だと思います。すぐそこに自然が広がっていることが種子島の魅力だと思います。

町田：都会にはないもの、島は、自然が豊かで綺麗ですね。海が見えるカフェがお気に入り。休みの日は友人とランチを食べに行きます。

夢や希望

松下：興味ある分野を見つけて、認定看護師を目指して勉強したいです。看護師として種子島の医療に貢献できたらと思います。

町田：保健師の資格も持っているの、健康指導やメンタルケアなど、保健師としても働いてみたいです。

学生さんに伝えたいこと

松下：勉強や実習が大変かもしれませんが、働いてみると楽しいので、頑張ってください。

町田：看護師は責任もあり大変な仕事だけど、楽しいこともやりがいもいっぱいあります。今は勉強が大変だと思いますが、頑張ってください。

先輩からひとこと



副看護部長 竹之内 卓

当院では各部署に応じた勉強会や研修会を頻繁に行うなど、教育体制に力を入れております。新卒の二人が入ったことで、私たちも学び直すきっかけとなり良い刺激を受けております。これからの種子島の医療を支えていく人材として非常に期待しております。



お気に入りのカフェでティータイム



カフェの窓から海を眺める

社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター

施設概要

救急医療、地域医療、高齢者医療を支える急性期から在宅まで一貫した医療、そして高度な医療など、各部署の強い連携により温もりのあるチーム医療を提供します。また、思いやりの心と技術を研鑽する真摯な姿勢で、地域に根ざし信頼される病院づくりを行っています。

所在地・連絡先

〒891-3198
鹿児島県西之表市西之表 7463
Tel:0997-22-0960
Fax:0997-22-1313



種子島

種子島産婦人科医院

06.「四季に合わせて暮らす」

武田 あつみ

Takeda Atsumi



「武田さんの暮らし」の動画はこちら

profile

栃木県出身。2018年に種子島へ移住後、自身の出産を機に助産院を開業。産婦人科との連携の重要性を感じ、種子島産婦人科に勤める。勤務歴1年。(産婦人科通算勤務歴8年)

週末はお気に入りの浜辺をビーチクリーン

やはりお産に関わりたい

神奈川県から種子島に移住し、病院で派遣看護師として働いていたのですが、自分が出産してからは、やはりお産に関わりたいと思うようになり、産休育休中にベビーマッサージの資格を取りました。育休後も病院で働いていましたが、やっぱり助産師をやりたいと思って、ベビーマッサージや授乳の相談をメインにした助産院を島で開業しました。産婦人科と連携が取れたほうが良いと思って、島内唯一の産婦人科で働き始めた感じです。

特別な時期に関わらせていただく

私はほんとに赤ちゃんが好きで、赤ちゃんの期間って人生でもすごく特別な時期ですよね。妊娠というのにもよっては人生に一回しかなかったりとか、すごく特別な時期だと思います。そこに関わらせていただけることは、すごく幸せなことだと毎回思っています。



仕事への想いを笑顔で話す武田さん

精一杯向き合う

神奈川県にいた時は、近くに紹介できる施設はたくさんあったので、安心感もありながら働いていました。

種子島で働くようになってから、自分たちで精一杯向き合っていく必要があると感じ、自分の知識技術をもっと向上させたいと思うようになりました。島に来てからたくさん研修にも参加するようになりました。本土に渡る渡航費もかかるし、もっと勉強してから来れば良かったと思う時もありますが、

働いていると、「出会えて良かった。」と言ってもらえることがあります。今の自分のできる精一杯が、誰かにとってそんな風に思ってもらえたりするんだなと思うと、いつも一生懸命関わっていたら、その想いは届くのだと気づきました。そんな姿勢でこれからもやっていきたいと思っています。

不便は感じない

一回も種子島に来たことがない中で移住したので、事前にマップを見て、お店をチェックしていました。今はネット通販もあるので、引っ越してみたら全然問題はなかったですね。

四季に合わせて暮らす

島で暮らしていると、自然と共に暮らしているんだなと感じます。天候によって予定が変わったりとか、夏は日が長いから夕方までみんなでサーフィンするけど、冬は暗くなるのが早いので、家に早く帰って、子どもとゆっくり過ごしたりとか、季節によって過ごし方が変わります。

また、島に来てからは旬の食材を沢山頂いたり、食卓が自然と旬のものになったり、四季に合わせて暮らしているなど感じています。健康的な暮らしになったなと思うし、天気のことにも気になりましたね。



生まれたての赤ちゃんのお世話

赤ちゃんにミルクをあげる様子

新生児室

赤ちゃんのケアをする部屋

自宅で行うベビーマッサージ教室

武田さんのとある一日

4:30	起床 朝は読書や勉強の時間	7:00	息子起床 朝の支度を始める	8:00	保育園のバスに息子を送り出す	8:30	赤ちゃんやお母さんのケアを行う 仕事開始 通勤5分	9:00		12:00	お昼休憩	13:00	午後の仕事開始 赤ちゃんやお母さんのケアを行う	17:00	仕事終わり 帰宅	17:30	息子のバスのお迎え 犬と子どもと海へ行き ゆっくり散歩	19:00	夕食	20:00	家族団らんの時間	21:00	就寝
------	------------------	------	------------------	------	----------------	------	---------------------------------	------	--	-------	------	-------	----------------------------	-------	-------------	-------	-----------------------------------	-------	----	-------	----------	-------	----

通勤時間2時間が5分に

都会で暮らしていた頃は、職場までの通勤時間は片道2時間でしたが、島に引っ越してから5分になりました。出産前は朝5時に起きてサーフィンに行ってから仕事、また17時に仕事が終わったら海に行く。そんな時間の使い方ができたんですよ。今はその時間、子どもと犬と海に行き遊んだり、沈む夕日を見てぼーっとしたりとか、家族で行く時はビールを持って行ったりかしています。そんな豊かな時間は今までなかったので、すごく幸せだなと思います。

種子島が繋いでくれたご縁

島の人々は、昔から知ってたかのように接してくれたり、いろんな人を繋げてくれます。島に来て7年目くらいになるんですけど、都会に住んでいた時とは比べ物にならないくらい人脈というか繋がりができました。人生において大切にしたい、これから先もお付き合いしていきたく思う人は、この島で出会った人が多く、種子島が繋いでくれたご縁がたくさんありますね。

島を出る度に島の良さを感じる

年に数回は島から出て関東に行きますが、見渡す限り建物で、島にいる時には、無意識にしっかりと空や太陽を見ていたんだなって思います。

今の自分を満たしてくれるもの

島に来て最初の頃は、お店のハンバーガーやドーナツ、ラーメンも、、、と思っていたけど、今の自分を満たしてくれるのはそこではなくなりました。島を出る度に、早く海辺を散歩したいとか、陽を浴びたいかと思いながら帰ってきます。



種子島産婦人科医院
院長 鳥巢弘道

いつでも誰でも来られる場所づくり

いつか助産院を建てて、お産もできたり、産後もそこで過ごせたり、妊婦さんも遊びに来ることができたり、また、赤ちゃんが中学生になって自分の体に悩みがある時気軽に立ち寄り、ここに来れば安心して暮らしができる、妊娠生活が送れるというような、誰もが気軽に来られる場所をつくりたいです。そして、フリースクールみたいな、乳幼児と触れ合うのが好きな学生が、一緒に赤ちゃんのお世話をしてくれたりとか、分け隔てなく、皆に開いた場所になりたいです。

先輩からひとこと

安心して妊娠出産、そして子育てのスタートができるための病院でありたいと思います。そのことが種子島の人口増加に繋がれば、島全体でできることが増え、未来への可能性が開けていくと思います。その最初の場面を支える役割と責任が僕たちにはあると思っています。医療従事者にとって、知識や技術を身につけることはもちろん大事です。そして、離島で医療に携わることの魅力は、人と深く繋がる環境に身を置くことで、自然に人間味が備わってくることです。医療を学ぶ学生にとって、大切なことを身に付けられる最高のフィールドになるのではないかと思います。

種子島産婦人科医院

施設概要

種子島産婦人科医院は2008年に種子島の一市二町の思いを受けて設立されました。島で唯一の産婦人科であることの責任を自覚し、受診された患者様に「受診してよかった。安心した。」と言っていただけの医療を行っていきたく思います。

所在地・連絡先

〒891-3101
鹿児島県西之表市西之表 16314-7
tel:0997-22-0260
fax:0997-23-2281



1 医療法人徳洲会屋久島徳洲会病院

〒891-4205
屋久島町宮之浦 2467
Tel : 0997-42-2200




2 有限会社岡村ひまわりのお家

〒891-4205
屋久島町宮之浦 2384-10
Tel : 0997-42-2855




3 特別養護老人ホーム縄文の郷

〒891-4205
屋久島町宮之浦 2458-2
Tel : 0997-42-2820




4 特別養護老人ホーム竜天園

〒891-4312
屋久島町船行 1068-3
Tel : 0997-46-3114




5 訪問看護ステーション雲雀

〒891-4311
屋久島町安房1796-14-107
Tel : 0997-46-4767




6 児童デイサービス縄文

〒891-4403
屋久島町原 8
Tel : 0997-47-2274






7 屋久島町社協訪問介護事業所
こまどり館

〒891-4404
屋久島町尾之間 459-1
Tel : 0997-47-3232




8 なごみ荘

〒891-4404
屋久島町尾之間 1096
Tel : 0997-47-3588

24 南界園通所介護センター

〒891-3607
中種子町田島 327-1
TEL : 0997-27-9204




25 公立種子島病院

〒891-3701
南種子町中之上 1702-22
TEL : 0997-26-1230




26 特別養護老人ホーム芙蓉苑

〒891-3701
南種子町中之上 1702-4
TEL : 0997-26-2345




07. 私たちと一緒に働きませんか？

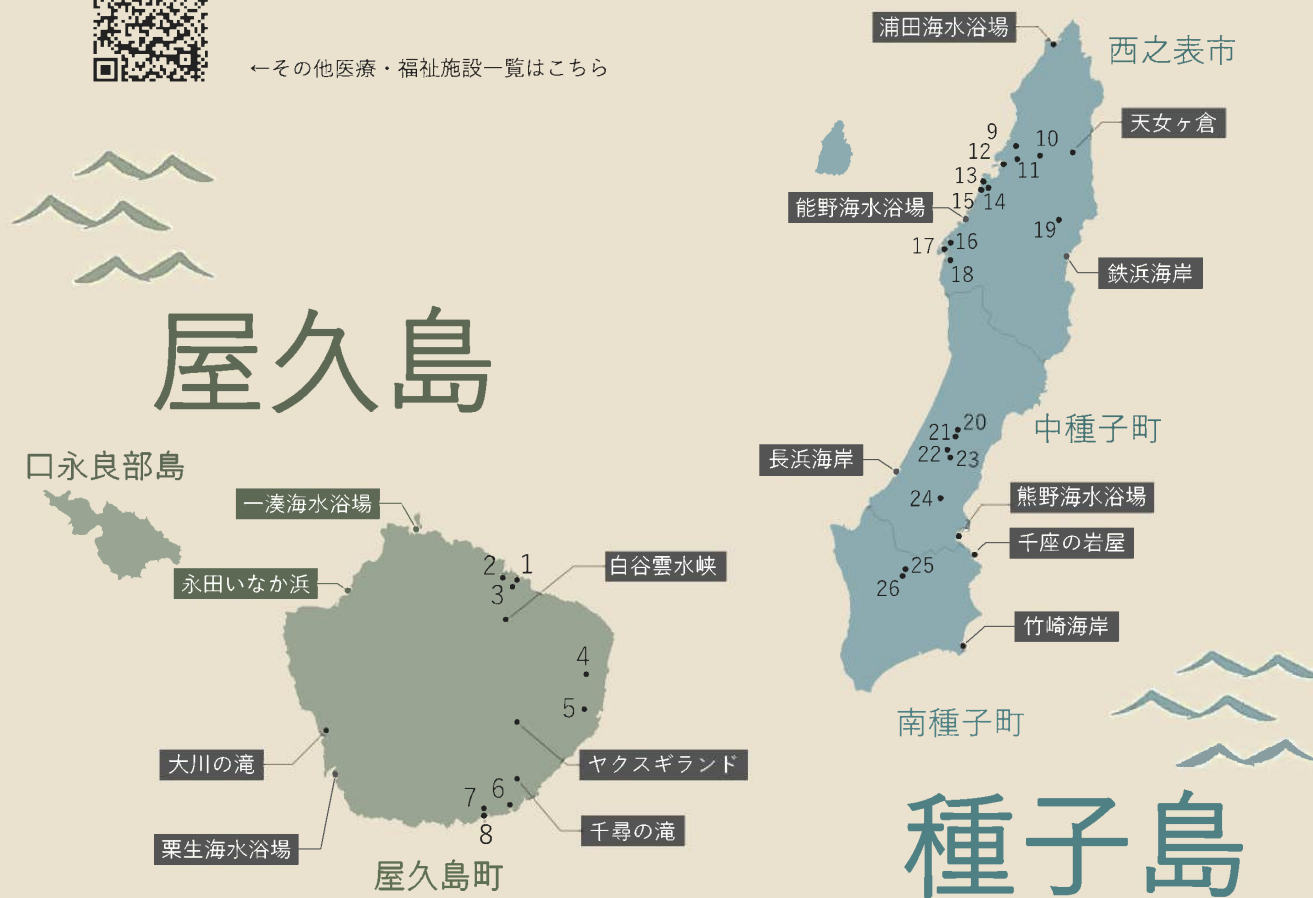
熊本地域にある主な医療・福祉施設をまとめました。
職場のすぐそこに海があり、山がある。
そんな場所で暮らし、働いてみませんか？

※求人の有無等についてはそれぞれの施設にお問い合わせください。

Would you like to work with us?



←その他医療・福祉施設一覧はこちら



9 特別養護老人ホーム百合砂苑

〒891-3101
西之表市西之表 6087
Tel : 0997-23-6161




10 介護老人保健施設わらび苑

〒891-3101
西之表市西之表 2981-1
Tel : 0997-22-2600




11 社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター

〒891-3198
西之表市西之表 7463
Tel : 0997-22-0960




12 ありがとう

〒891-3111
西之表市西町 36
Tel:0997-28-3747




13 特別養護老人ホームわかさ園

〒891-3101
西之表市西之表 16347
Tel : 0997-22-1413




14 平安閣介護支援センター
つばさ

〒891-3101
西之表市西之表 14889-5
Tel : 0997-23-2627




15 種子島産婦人科医院

〒891-3101
西之表市西之表 16314-7
Tel : 0997-22-0260




16 風の街

〒891-3104
西之表市住吉 2601-8
Tel : 0997-28-3456




17 医療法人純青会
せいざん病院

〒891-3104
西之表市住吉 3363-2
TEL : 0997-28-3331






18 就労継続支援 B 型ほのぼの

〒891-3104
西之表市住吉 4784
Tel : 0997-23-8361




19 たちばな園

〒891-3103
西之表市現和 8455-5
TEL : 0997-25-1199

22 医療法人徳洲会中種子
デイサービスセンター

〒891-3604
中種子町野間 6481-1
TEL : 0997-27-3222




23 障害児入所施設あかつき学園

〒891-3604
中種子町野間 6584-1
TEL : 0997-27-0377




20 株式会社イオレ
ゆうあいサービス

〒891-3604
中種子町野間 5172-3
TEL : 0997-24-2206




21 種子屋久農業協同組合
訪問介護事業くまげ事業所

〒891-3604
中種子町野間 5281
TEL : 0997-27-3738




08. 移住の支援制度と取組

住宅支援や子育て支援など、熊本地域の各市町の移住に役立つ情報をまとめました。

鹿児島県
移住・交流ポータルサイト



鹿児島県の
移住支援制度はこちら



かごしま
移住ネット

西之表市

住宅関係支援
家賃やDIY補助
U・Iターン者定住促進住宅を整備
空き家バンク制度

移住者や新卒者への就職奨励金

就業支援

移住体験

子育て支援
小・中学校給食費無償
小・中学校入学祝金
放課後児童クラブ

移住希望者対象の短期滞在型住宅

詳しいお問い合わせ先
西之表市地域支援課
Tel: 0997-22-1111 (相談時間 8:30~17:15)
Mail: shiminkatudo@city.nishinoomote.lg.jp

南種子町

住宅関係支援
空き家バンク制度
住宅購入等支援

就業支援
本町へ転入し、勤務されている方への支援

移住体験

子育て支援
生活体験のためのお試し住宅

出産祝金
子ども医療費助成
放課後児童クラブ
宇宙留学制度

詳しいお問い合わせ先
南種子町企画課
Tel: 0997-26-1111 (相談時間 8:30~17:15)
Mail: kankou2@town.minamitane.lg.jp

中種子町

住宅関係支援
空き家改修支援
指定地域への定住支援

子育て支援
高校卒業まで医療費助成
子の出生時に商品券を支給

詳しいお問い合わせ先
中種子町企画課
Tel: 0997-27-1111 (相談時間 8:30~17:15)
Mail: naka-kikaku@town.nakatane.kagoshima.jp

屋久島町

出産祝金
子ども医療費助成
山海留学制度

子育て支援
生活体験のためのお試し住宅

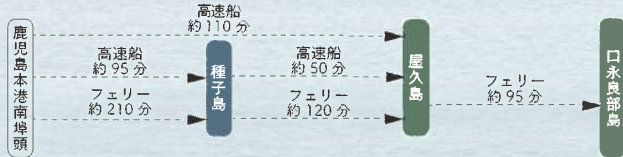
移住体験

住宅関係支援
住宅取得補助
転入した世帯への家賃補助
空き家バンク制度

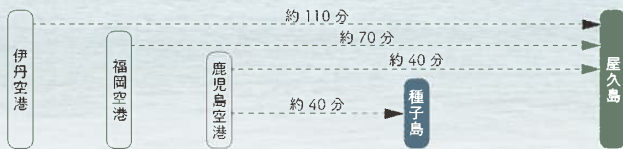
詳しいお問い合わせ先
屋久島町観光まちづくり課
Tel: 0997-43-5900 (相談時間 8:30~17:15)
Mail: ijyu@town.yakushima.kagoshima.jp



船でお越しの方



飛行機でお越しの方



鹿児島県

2024 年発行

熊毛地域医療・福祉人材確保対策事業
令和 5 年度地域振興推進事業

鹿児島県熊毛支庁保健福祉環境部
〒891-3192 鹿児島県西之表市西之表 7590 番地
TEL : 0997-22-1830

MAIL : kumage-chiikihoken@pref.kagoshima.lg.jp